



根 笹

2020

(令和2年)

12月1日

発行 根笹会 立見賢治
 住所 〒379-0116
 群馬県安中市安中3702
 TEL. 027-381-0240
 FAX. 027-381-0630

ごあいさつ



新島学園同窓会「根笹会」
 会長 立見賢治
 (20期)

師走を迎え、同窓生の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より「根笹会」の諸活動に對しましてご理解ご協力を賜り、共に母校の支援にご尽力いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の世界規模の蔓延に拠る影響で、感染防止対策のため不要不急の外出を控える日常となりました。当然ながら同窓会活動も総会をはじめほとんどの年間予定行事を自粛せざるを得ない状況となっております。母校においても4月以降生徒の登校を停止し、ほぼ3カ月間に渡りオンラインリモート授業という状況となり、教育活動に大きな支障をきたすこととなつてしまつたようです。

6月以降登校再開となり、段階を踏んで正常な学校生活に戻りつつあるようですが、いまだ感染症の終息の気配は見えず、

生徒たちはもちろん先生方の苦労は計り知れないものがあると推察されます。そして、同窓生の皆様におかれましては多くの方々が、このコロナ禍の真つただ中にあり、これまでにない大変なご苦労をいらつしやるであろうと想像するにつけ胸が痛みます。何とかこの期間を耐え忍び一日でも早く元の平穩な日常が戻り、余裕を持って同窓会活動に参加できる日が来ることを心から願つているところです。

さて、同窓会本部役員の今年度の活動ですが、定期役員会だけはこの状況下ですが参加していただける役員だけで、必要な感染予防対策を十分講じたうえで開催しています。

新たに母校からの要請で、同窓会本部役員による学園改革委員회를立ち上げることとなりました。

月に一回程度の頻度で委員会を開催させていただいております。湯浅理事長さんにも同席し

役員紹介

会長・副会長



会長 立見賢治
 20期 高崎市



副会長 谷勝彦
 25期 高崎市



副会長 山田中久
 26期 安中市



副会長 静朋人
 32期 安中市

監査



佐藤光昭
 20期 安中市



小林栄郎
 25期 高崎市



武者利通
 20期 安中市

幹事



吉沢尚志
 26期 前橋市



田中美香
 29期 安中市



大野晋吾
 34期 富岡市



山田恵一
 37期 安中市



高橋 司
 42期 下仁田町



荻原昌弘
 45期 安中市



湯本直也
 28期 前橋市



白田周一
 30期 桐生市



小森谷 剛
 37期 高崎市



横山慶一
 38期 富岡市



前田美佐
 43期 高崎市

事務局長
 小宮山 仁(29期)

事務局員

佐俣幹夫(28期)

沖田恭子(28期)

田中徹浩(45期)

中村圭介(49期)

小野寺 恵介(57期)

白井杏菜(62期)

小林千香

ていただき、選抜した7名の委員でほぼフリートリーキング方式で意見交換をし、これからの学園に同窓会がどのように協力していきけるかということなどを中心に話し合いをしているところです。

昨年の教員の不祥事から始まり、今年度はコロナの影響によ

「息を合わせる」

60期生以降の皆さんへ」



学校法人新島学園
理事長 学園長

湯浅康毅



2020年度新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会会報『根笹』発刊誠におめでとうございます。本年度より学園長を兼務させていただくことになりました湯浅康毅でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

立見会長様はじめ根笹会本部及び各支部の皆様には日頃新島学園へのご協力を賜り、また現在歩んでおります10年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027：木を育てる。」に関する事業に対しても引き続き

り大きなダメージを受けた母校に、同窓会として少しでも応援できることを考えていきたいと思っております。

終わりに、母校の発展と同窓会員全ての皆様の明るい未来を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

きのご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

新島学園は現在第4次中期経営計画の最終年度に入り、事業の総括と共に来る第5次中期経営計画の策定に入っております。事業計画の骨子は70周年記念事業の中でお示しした30年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2047」に向かいつつ、激しい時代の変化に対応しつつ、新島学園らしさを新たにしていづく取り組みを進めてまいります。

特に昨年は母校の元教員によ



る刑事事件が発生した関係でこれまでの運営体制自体が問われ、それ以上に母校の存在意義にまで影響が及び社会からも厳しく問われました。第三者委員会からの報告・提言を受け、本学のコンプライアンスとガバナンス機能の改革を目指すため現在改革委員会を組織し、新島学園を象徴する言葉として長年共有してきた「自由」について検証と再定義を行っております。再び新島学園の「真の自由」を取り戻すことが出来まますよう尽くして参ります。

加えまして今年是世界中に影響を及ぼしている新型コロナウィルスの関係で同窓会の皆様とは直接的な対話の時を持つこともままならず、紙面やウェブ上を通じて一方通行のご挨拶となっております。毎日が続いております。再び全世界で再感染が広がっている中において同窓生やご家族の皆さんの健康が守られますことを心からお祈りしております。

さて、今回はこの場を借りて全同窓生に対してというより、卒業したばかりの皆さんをも含めた60期生以降の皆さんに対して私が現在感じていることを応援の意味も込めてメッセージをお伝えできたらと思います。

60期生以降という丁度私の子供の世代くらいに当たるかと思いますが、皆さんは地球の大きな時間軸の流れの中で、特に自然と対峙する象徴的な場面に遭遇してきているかと思えます。記憶の新しいところで2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、今年の台風19号、そして今まさに対峙している世界的に猛威を振る人々と人の基本的なコミュニケーションの在り方さえ変わってしまったという新型コロナウィルス(COVID-19)の影響等大変な激動の中、今この時を過ごしておられるかと思えます。中には既に就職され会社勤務を

されている方や、研究活動に向き合われている方、創作活動に打ち込んでいる方等社会に出られて様々な経験を積まれている途中でようやく自分の仕事のペースもつかめるようになってきているかと思えます。現在大学等で学ばれている皆さんは休校措置によりキャンパスライフを満喫するどころか急なりモーター授業への対応に追われ、生活のペースを崩してしまっている人も少なくなかったかと思えます。同時に様々なことを自粛しながら新たな生活様式に無理やり体を慣らしている最中かとも思います。

今回の世界的なパンデミックを目の当たりにして思うことは、目に見えない新たなウイルスという存在の前で人類は成す術が無いということ、平等であるということ、成す術が無いことは、一切避けることは出来ずただ受け入れるしかないことです。よく人類が滅びるとしたら核戦争ではなく、未知のウイルスだ、と言われているが、今回世界中で120万人以上の方が亡くなりました。そして多くの犠牲を払うことで免疫をつけ未知のウイルスを克服していくというこれまで人類が繰り返した経験をしてきたことに今まさに向き合っています。

また平等という表現を使ったのは、これまで社会的な格差が



生活水準と比例していると考えられていたが、今回のウイルスに至っては数多くの権威のある方々から恵まれない環境にある方まで、また性別、学歴、職業別、人種、宗教、価値観等区別なく全ての枠を超えて平等に影響を受けていると思っています。

現在、私は学校法人新島学園の経営者である理事長として、そして今年からは教務面を担う学園長として学長先生、校長先生とともに学生、生徒の皆さんの成長をサポートさせていただくことにも関わらせていただいておりますが、一方で私は現在安中市内で江戸時代後期より続く老舗の醤油醸造元の7代目当主として日本の伝統文化を継承する立場も担っています。

この中で私は2つの考えを大切にしております。一つは醤油づくりでは目に見えるものは限定的であって、実は目に見えない菌とのお付き合いがほぼ全体を占めるということです。もう一つは兎角自分が醤油を作っていると思いがちですが、それはとんでもない間違いで、人も醤油づくりの工程の一つである、ということなんです。長年積み重ねてきた醤油づくりの環境の中で「作らせていただいている」という感覚です。

いわば私は生まれた時から成長過程において醸造蔵で長年育まれてきている目に見えない菌



と一緒に過ごしてきており、菌の魅力と怖さについては感覚的に人一倍体で理解をしているつもりです。

現在人工知能の研究が加速し、米国の未来学者で人工知能研究の世界的権威であるレイ・カーツワイル博士は、「2029年にAIが人間並みの知能を備え、2045年に技術的特異点（シンギュラリティ）が来る」と提唱しており、この問題は2045年問題と呼ばれています。

また国内では人づくり革命・人生100年時代・超スマート時代（Society 5.0）の到来に向けて今後IoTやAI技術を使って少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題を解決し、一人ひとりが快適に暮らせる「人間中心」の社会を実現する方向に向かっています。

個人的には今回我々が対峙していることは、この人間中心の社会構造に対する自然界からの警鐘にも思えてきます。しかし新型コロナウイルスの感染の広がりが懸念されている中にあって比較的流行期から比べると落ち着いた現在の現在では(10月現在)、経済活動の活発化と共にまた元のような論調に戻り、学校現場でもICT化をどのように効果的に進めていくかを議論することより、どのように導入するのが目的化し学生、生徒が不在のままハードを整えることの方を加速させているバランスを欠いた状況なのかもしれません。

の宣教について書かれたものですが、この時も神が中心なようで実は中心でなく、人中心で物事が動いていた様子が見て取れます。

自分は正しい、自分の理解が正解、自分が自分だと主語が常に自分中心になってしまい、反対意見を持つ者には敵対心をもってねじ伏せることが起きていたかとも思います。

皮肉にも2020年の今も「人間中心」な状況は同じように感じます。人の生活様式は時代の流れによって変化しても本質はあまり進化しないのかもしれないです。

2017年に新島学園が創立70周年を迎えた時に記念式典の最後にお読みした聖句があります。新約聖書コリントの使徒への手紙1・3章6節「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」です。当時のテーマが「種を蒔く」でしたので、植物が育ち大きくなっていく有機的なイメージと聖書の教えを象徴した箇所として、新島学園が神の計画の下、この地に備えられたことを憶え、新島学園の誓いとしてお伝えいたしました。

今回のテーマである「息を合わせる」についてですが、個人的には70周年の時に選んだ聖句と関連があると思っています。それは主語を「自分」ではなく、「自分以外」を主語にする行為ということなんです。自分が息をしているのではなく、隣の人と息を合わせるということです。

何か嬉しいことがあったらその喜びを分かち合いたい、美味しいものをみんなで美味しいねと言いながら食べたい、美しいものの価値を一緒に共有したい。何か苦しんでいたりと困っている人がいたら、一緒に寄り添いお互いの時間を共にする。これらはみんな全て「息を合わせる」ことになるでしょう。聖歌隊の皆さんも息を合

わせることが出来ない、他人の呼吸を感じる事が出来ない、あの美しいハーモニーは生まれません。

もう一つ大切なことは、息を合わせるための「空気」についても意識をもってもらいたいと思います。空気というとうとう当たり前すぎて意識さえしないかと思いますが、当然ながら空気が無いと我々は生きていくことが出来ません。いま現在物理的に隣の人とアクリル板などで仕切られています、空気自体は共有しているわけです。

地球が46億年前に誕生し、海中の生物が二酸化炭素を取り込み酸素を作りだし、その後大気にオゾン層を作り現代の生態系が生まれていますが、我々は大げさでなく46億年分の生命の営みから生まれ育まれてきた空気を吸って分かち合っているのではないのでしょうか。



つい最近中高がある安中キャンパスのすぐ近くに2000㎡の農地を地域の理解者よりお借りし自然栽培・循環型農業を実践するため土づくりから菜種の栽培を学校関係者で始めました。始めました(画像参照)。

2018年以降活動が休止中だった新島学園ファームの復活です。ただこの土地は約10年間使われていなかったかつての田んぼで、雑草がはびこって土を

耕すどころではありませんでした。群馬県の農業改良センターの指導員の方にも確認してもらいましたが、その指導は強力な除草剤を散布し、雑草を根から枯らして土を入れ替えることを提案されました。

その提案に違和感を覚え、他にやり方が無いか調べたところ、結局以前からのお知り合いの耕作放棄地/遊休農地の復活をいくつも手掛けているプロの農家さんに相談することになりました。その農家さんがまずおっしゃったのは、「除草剤なんか撒いたら、これまで長い時間をかけて育まれてきた土壌菌も殺してしまう、意味が無いこと」と教えてもらいました。

そこでその農家さんが何を思ったかという、雑草をトラクターで刈りながら細かく切断し、のちに土に混ぜて栄養にされました。その作業を何度も繰り返し雑草の成長を押さえ、その後見事に土を復活させました。

9月末に菜種の種をインターアクト部の生徒たち、PTA、同窓生の皆さん、この取り組みを支えて応援してくださる安中ロータリークラブや地域の企業の皆さんと学園関係者総勢30名ほどで蒔きましたが、もう既に発芽し日に日に背が高くなりその成長を毎日確かめることができますようになっていきます。

今回の菜種の種蒔きのために遊休農地を改善し土づくりをした経験を通して感じたことは、今年度は新型コロナウイルスの影響で様々な学校行事が中止・延期となる中だからこそ、多くの関係者に協力いただき屋外でこそ実現できた取り組みであったと思うとことでありました。

もう一つは農薬を使わない土地なので様々な生物を見かけます。時には嫌いな人は卒倒しそうな蛇だとかトカゲなどをはじめ多種多様な昆虫も確認できます。田んぼの季節に現れる用水路には魚やザリガニも見かけることが出来ました。そんな様子を見ていると、空気を吸っているのは人間だけではないんだな、農場で見かける生物たちもみんな同じ46億年分の空気を分かち合っているのだなと実感し不思議と感動した次第です。

まさか50歳になってこのようなことで感動するなんて不思議な気持ちでいましたが、そんな時ふと70周年の式典でお読みした聖句が思い起こされ、今回体験したことを以下のように解釈してみました。

「我々は土地を耕し、みんな種を蒔いた。しかし育ててくださったのは神です。」

命あるもの全て土から生まれ、土に帰っていく。それが自然の摂理だといえます。いま人とのコミュニケーション

ンが根本から覆されようとしています。

こんな時だからこそ、自分だけを主語に置かず、自分が生きているのではなく、生かされていることを感じる、息を合わせるこの大切さを知ること。そこに神の存在が常にいてくださること。

このことを今回のメッセージとして、特に60期生以降の同窓生の皆さんに送りたいと思います。

皆さんの健康が守られ、難しい時代にあっても良心を備えた人として益々活躍されることを心からお祈りしております。



画像提供：中島元気 (50期生)

コロナ禍にあっても 新島学園の営みは進んでいきます



新島学園中学校・高等学校

校長 古畑 晶

新元号令和になって2年目に入りました。根笹会の皆様は、お元気で過ごしてでしょうか。新型コロナウイルス感染症が広がり、健康的にも、経済的にも大きな打撃を受けた年となりました。皆様方の安心・安全をお祈り申し上げます。

安倍元首相の緊急事態宣言を受け、新島学園中高も3月から休校がはじまりました。卒業式は、礼拝堂で人数を制限して何とか行うことが出来ました。中学校から入学の生徒は6年前に、高校から入学の生徒は3年前に礼拝堂で入学式を行いました。規模を縮小したとはいえ、何とか卒業生を礼拝堂から送り出すことが出来ました。コロナ感染も、1カ月くらいで収束するだろうと思っていたところ、さらに感染が拡大してしまいました。4月の入学式では、校長の祝辞を新入生が各教室で、しかも放送で聞くという事態になりました。登校日は設

けたものの、その翌日から休校が再び続きました。先生方も遠隔授業の準備をはじめ、いろいろな技術を駆使して課題を配信していました。ICT環境が飛躍的に、伸張していきました。6月に入り、分散登校、短縮授業開始など平常の授業に近づいてきました。また、クラブ活動も制限はあるものの、再開されました。ただ、平時であれば行われる数々の行事が、中止あるいは延期に追い込まれました。

夏休みも8月に入り、2週間という短期の夏休みとなりました。9月になって、やっと少しずつ行事が行われるようになりました。9月に行われた行事を2つほど紹介します。一つ目は、9月29日に新・新島ファームのお披露目があったことです。

群馬テレビやラジオ高崎でも紹介されました。2年前まで、

初代新島農場がありました。中学生やインターアクト部の生徒が中心となり、大豆の種まきや収穫をし、お醤油や納豆を作ったそうです。しかし、畑の返却をしなくてはならず、農場が一時ストップしていました。

ところが、昨年ご近所の農家さんが使っていない畑があるのだけれども、学園の教育の為にらと広い畑を貸してくれました。だいたい長い間畑は使われていなかったので雑草が1メートルくらい伸びていました。雑草を取り除き、良い畑にして行くにはどうしたらよいかを考えた末、有機農法を行うのが土地にも、自然にもよいという結論に達しました。しかしながら、雑草を砕いて肥料にする農法で、手間と時間がかかります。

それでも、今回トラクターで土を耕し、今年9月に入りやっと保護者やロータリークラブの方々、先生方生徒の皆さんと一緒に菜の花を植えることが出来ました。なぜ、菜の花かという点、土を肥やすために菜の花を植え、菜の花から菜種油をとる、その油かすを肥料にするのです。これは、新島学園5原則の「勤労を尊び、天然資源の利用を学ぶ」という教えを実践するものです。

来年の4月には農場いっぱい菜の花が咲き乱れることでしょう。新島学園から磯部に向

かつて100メートルほど行くかと左手に紫色の新島ファームの看板が見えます。ぜひ、菜の花が咲いたら皆さんに見ていただきたいと思えます。

二つ目は、9月22日から24日まで行われた高校2年生の東北修学旅行です。

本来は3月に九州地方で修学旅行が行われる予定でした。コロナ感染を警戒して、9月に延期されました。更に、場所も新島学園からバスで行くことの出来る東北地方となりました。

主題は「震災学習と歴史探訪」となりました。震災学習では、名取市閑上・女川町・石巻市の3カ所に分かれて語り部の方のお話を聞きました。震災から9年もたつのに、建物も人々の心も元のようにはなっていないことを話してくれました。そのような中でも、この経験を未来の人たちに伝えようと、いろいろな形で活動している人たちがいるのです。その日宿泊した南三陸のホテル観洋も、被災し半年間もの間、被災者の方々を収容したそうです。

翌日、平泉の中尊寺を見学しました。金色堂をはじめ、三千余点の国宝・重要文化財となっている平安仏教美術を見学しました。「平泉 一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されているそ

うです。最終日は、仙台での自由行動・松島の島巡りなどを楽しむことが出来ました。台風が近づき天候が心配された中、すべて守られ無事帰ってくる事が出来ました。また、2週間の観察期間を経て異常の無かったことを神に感謝いたしました。

長い歴史の中で、今年のように疫病のために多くの人の命が奪われ、多くの人たちが苦しみ、制限された空間での生活を強いられことは滅多にないことだと思います。

その中でも、医療機関の人々や社会を良くしていくために最善を尽くしている方々がおります。感謝しつつ、一人ひとりがそれぞれの環境にあつて努力していくことが必要だと思っています。

新島学園も、学校の教育活動を絶やさないように頑張つて参りますので、ご協力よろしく御願いたします。



新型コロナウイルス感染拡大下の 新島学園中学校・高等学校



新島学園中学校・高等学校

教頭 小栗仁志

一年前の同じ日、一年後の世界がこうなっていることを誰が想像できたでしょうか。2019年12月に中国湖北省武漢市にて広がり始めた新型コロナウイルスは瞬く間に世界に広がり、2020年11月初めの時点での感染者の累計は世界全体で4800万人、日本でも1万人を超えました。まさにパンデミックの様相です。

この間、学校現場も多大な影響を受けました。2月27日に当時の安倍首相が突然、全国の小・中・高・特別支援学校に対して3月2日から春休みまでの臨時休校を要請しました。唐突なこと、新島学園中学校・高等学校としてもどうすべきなのか緊急に職員会議を開き検討を加えましたが、生徒の健康を守ることを最優先に考え、要請に応じて3月2日より春休みまで(3月19日まで)の臨時休校を決定しました。臨時休校初日の3月2日は高校の卒業式でした

が、式次第の変更による大幅な時間短縮、来場者の人数制限を行うなどの感染対策を行った上で卒業式となりました。卒業生全員に校長が卒業証書を手渡ししてきた伝統も一旦中断せざるを得ず、何よりも楽しみにされていた保護者の方々、卒業生一人につき保護者お一人の参列に限定することになったことは大変に心苦しいことでした。

また、どの学年も予期せぬ突如の年度の終了となり、年度の締めくくりとクラスの解散が十分にできない残念さを味わいました。2月中に決定したことはいえ、3月に予定されていた中学2年生の研修旅行、高校1年生の修学旅行も延期とし、生徒が楽しみにしていたことが一斉に吹き飛んだ感があります。

臨時休校中、どうしても行わねばならない次年度の教材販売と期末テストの返却のために各学年一日だけの登校日を設け、また、3月19日には中学の卒業

式を高校と同様の対策を取った上で実施しました。長期の休校に伴い学習面でのサポートが心配されましたが、Web教育システムであるスタディサプリやクラッシーを使っている休み中の課題の指示、配信を行い、急場をしのぎました。

春休みが終われば新年度から登校再開と皆が願っていたのですが、県の方針により連休明けの5月6日まで、後に5月31日までの臨時休校延長が決定されました。2019年度の締めくくりどころか、2020年度のスタートも十分にできず、混乱のうちに新年度を迎えることとなりました。

そんな中、4月7日に新中学1年生、新高校1年生の入学式を行いました。礼拝堂は使用せず、各教室で放送による短時間の入学式でした。礼拝堂を使用しない入学式は前代未聞のことでしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が一部自治体を対象に発令される中、やむを得ない対応であったと思います。新年度になり新クラス編成となつて、とにかく一度は集まらなければクラス運営もできないと、4月8日に中1と高1、9日に中2と高2、10日に中3と高3と2学年ずつ、3密を回避しながら登校しました。新クラスの初めての顔合わせですが、この後、1ヶ月以上



授業動画撮影風景

クラス全員が顔を合わせることはありませんでした。

新年度が始まったものの長く臨時休校が続く問題となったのは学びの継続です。自宅にいる生徒を支援し、学習を継続していかねければなりません。臨時休校突入直後は、生徒たちに加えてもらっているWeb教育サービスであるスタディサプリ、クラッシーを使っている課題の配信、回収、講義の動画閲覧などを行っていたのですが、教員がそれぞれ教室で授業動画を撮影し、それを動画共有サービスであるYou Tubeにアップロードして生徒が授業を見ることができるようになっています。4月の中旬から朝に礼拝動画を配信して朝のHRをWeb上で行うところから始め、5月11日から授業動画の配信を本格的に進めていきます。5月25日よりオ



zoomによる授業風景

ンライン学習システムとして定評のあるgoogle classroomを導入し、動画配信、動画閲覧の確認、その他の課題の配信、回収などがよりオンラインでやりやすくなりました。

オンラインでの学習支援の体制を整えるにあたり、学校は各教室のネット環境の強化、教員一人一台のノートパソコンの配布など、多額の費用を使って機械的な環境を整備しました。また、You Tubeでの動画配信やgoogle classroomの設定や使用に際しては、情報に詳しい若手の教員達を中心になって、連日深夜まで作業をして大変な努力をしてくれました。また、生徒達のネット環境を整えるために生徒一人あたり、PTAの皆様から3万円、同窓会の皆様から2千円の支援金もいただきました。生徒達へのオンラインで



朝の検温風景



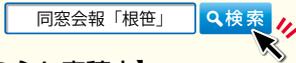
一斉授業再開後の授業風景

の学習環境の構築は、こうして多くの方々の応援と具体的な支援によって実現したことを、心からの感謝をもって覚えたいと思います。御礼申し上げます。
県の基準が緩和され、6月1日より、半分ずつの生徒による分散登校が再開されました。出席番号の偶数グループと奇数グループに分け、一日交替での登校です。毎朝、学年の教員が総出で非接触型体温計により、登校する全生徒の検温を昇降口前で行い、新型コロナウイルスの感染対策を行いながらの再開です。クラスの半分の生徒の登校

とはいえ、久しぶりの登校再開に生徒たちの喜ぶ顔が印象的でした。オンラインでも学習を継続させてきたつもりでしたが、やはり面と向かっていた授業の豊かさは他に替えがたいものがあると実感させられました。
6月15日よりいよいよ全生徒による一斉登校が再開されました。45分の短縮授業での対応です。そして6月29日より50分授業での一斉登校、つまりはコロナ以前の授業形態にようやく戻すことができました。朝の一斉検温もやめ、生徒各自の自宅での検温に切り替えました。朝の

お知らせ

これまでの同窓会報『根笹』のバックナンバーは、同窓会のホームページ (http://www.neesima-dosokai.jp/) からご覧いただけます。



【『根笹』最近掲載の主な寄稿文】

第49号

- 『平成の新島学園オートキャラバン隊』活動報告
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅
『新島学園との出会い、それから』
元新島学園中学校・高等学校教師 21期生 小瀬 秀夫

第50号

- 創立70周年を迎え 新島裏の原点に立ち返り、新たな行動指針で臨む
新島学園 中学校・高等学校校長 岩間 秀彬
『ビックリ 帆船三姉妹』
2期生 淡路 博和

第51号

- 改めて『新島学園のキリスト教教育』を考える
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅
『変化の中の新島学園中学・高校と将来の方向』
新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

第52号

- 『苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む』
学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅
『新たなる出発、今思うこと』
新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶
『恩師探訪『新島学園同窓会の立役者』岡 賢先生』
第32期生 星野 伸樹

全員検温は教員にとってかなりの負担でしたが、生徒の健康のため頑張って一カ月間やり通してくれました。
一斉登校再開以後、新型コロナウイルスの感染予防を行いなからのWithコロナの学校生活が続いています。夏期休業を2週間と半分に減らし、また、予定されていた行事も大幅に減らし、授業時間確保に努めています。すべての行事、活動が感染予防の観点から昨年と全く同じでは実施できない、学校のすべてでの日常の活動が新しい経験となつていきます。日本の教育の歴史に稀に見る事態であり、今までの経験もノウハウの蓄積も

なく、一からすべてを考えねばならない状況に、正直申し上げて学校現場も苦悩が深いのですが、生徒たちはいろいろな悩みつつもこうした日常の中でも情熱とやる気をもって歩んでくれています。
特に高校3年生にとっては、進学への不安もあり、また、一生懸命取り組んできた部活動の最後の大会や行事が次々と中止になり、行き場のない嘆き、やりきれなさを抱えていることでしょう。しかし、若人達は本当の学年の生徒達も、次なる目標を指し、前を向いて次のステップへと進んでいこうとして

います。教職員はそうした生徒達の日常を支援し続けたいと思います。
秋になり、いろいろな部活動で新人大会が、必要な感染防止対策をとりつつも通常に近い形で行われ始めています。このところ、生徒達の頑張りのニュースが入ってくるようになりました。冬場を迎え、季節性インフルエンザの流行も、新型コロナウイルスの再流行も懸念されますが、やるべきことをしっかりとやりつつ、これからも生徒達と共に歩んで行きたいと思えます。どうぞ、これからも応援、ご支援をよろしく願います。

高校ソフトボール部
第13回U18男子ソフトボール WORLD CUP
in New Zealand 報告

新島学園高等学校ソフトボール部顧問 田中徹浩 (45期)

令和2年2月22日〜3月1日迄、ニュージーランドで開催された世界大会においてU18日本代表は3回目の優勝を手にすることができました。

学園からは田中徹浩がヘッドコーチとして(高校ソフトボール部監督45期)、選手として稲垣拓朗投手(70期)、山口葵育捕手(70期)の3名が選出され、稲垣はエースとして、山口は9試合中8試合を捕手としてフル出場するなど大車輪の活躍で9戦9勝の完全優勝をすることができました。

日本代表よりも一回りも二回りも体格に勝る他国の選手に対し日本代表はチームワークと状況に応じた、冷静なプレーを心がけ一試合一試合勝利を積み上げました。

新型コロナウイルス感染症で開催が危ぶまれる最中の海外遠征でしたが開催国ニュージーランドは当時、感染者がいなかった為、幸いにも各大陸予選を勝ち抜いた12カ国すべてが出場しての大会開催になりました。

2月のニュージーランドの気候はとても過ごしやすく山から吹き下ろす爽やかな秋風が心地

よかったです。

また、地元パーマストンノース市民の方々にも盛大に迎えていただき大会前に地元の高校生との交流会や強豪クラブチームとの親善試合で国際交流を深めることができ、大会以外でも貴重な経験をすることができました。結果は以下の通りです。

スーパーラウンド

(相手リーグ上位3チームとの総当たり戦)

- JAPAN 対 アルゼンチン ○8-1
- JAPAN 対 オーストラリア ○5-2
- JAPAN 対 チェコ ○8-1

予選ラウンド

(A、B各リーグに分かれての総当たり戦)

- JAPAN 対 ニュージーランド ○12-1
- JAPAN 対 グアテマラ ○12-1
- JAPAN 対 デンマーク ○15-0
- JAPAN 対 メキシコ ○4-3
- JAPAN 対 アメリカ ○10-0

ファイナル

(予選ラウンド、スーパーラウンドでの総合成績、上位2チームにおいての優勝決定戦)

- JAPAN 対 オーストラリア ○9-2
(総合1位) (総合2位、前回王者)

*大会の様子はYouTubeで視聴できますので是非ご覧ください。

(WBSC U18 Softball World Cup2020 で検索)

世界男子ジュニアソフトボール選手権大会
(2020大会よりU18WORLD CUPに改称)

大会	期間	開催地	新島学園からの代表選手
第1回	1981年 7月5日〜12日	カナダ・ エドモントン	清水 正投手 (30期) 山田勝光捕手 (30期)
第2回	1985年 7月5日〜13日	アメリカ・ ファーゴ市	塚越哲郎投手 (34期) 斉藤哲利外野手 (34期)
第3回	1989年 6月24日〜7月1日	カナダ・ プリンスエドワード島	宮木雅彦内野手 (38期)
第4回	1993年 2月12日〜21日	ニュージーランド・ オークランド	鳥屋裕外野手 (42期) 山本晋也投手 (42期) 鈴木 誠捕手 (42期) 佐藤敬樹内野手 (42期) 熊井道也内野手 (43期)
第5回	1997年 7月20日〜27日	カナダ・ ファンランド島	高井 純内野手 (47期) 山田裕樹内野手 (47期) 白石哲太郎内野手 (47期)
第6回	2001年 4月21日〜26日	オーストラリア・ ブラックタウン	小田澤直樹投手 (51期) 悴田一明外野手 (51期)
第7回	2005年 6月20日〜7月6日	カナダ・ プリンスエドワード島	桑子恵介内野手 (54期) 青山紀彦外野手 (54期)
第8回	2008年 6月14日〜7月1日	カナダ・ ホワイトホース	大嶋 匠外野手 (57期)
第9回	2012年 11月1日〜10日	アルゼンチン・ パラナ	湯浅拓人外野手 (61期)
第10回	2014年 7月11日〜20日	カナダ・ ホワイトホース	該当無し
第11回	2016年 7月24日〜31日	アメリカ・ ミッドランド	該当無し
第12回	2018年 7月3日〜17日	カナダ・ プリンスアルバート	小野寺翔太投手 (68期)
第13回	2020年 2月22日〜3月1日	ニュージーランド・ パーマストンノース	稲垣拓朗投手 (70期) 山口葵育捕手 (70期)

■新島学園大会参加者
監督 田中徹浩 (45期 新島学園教諭)
選手 稲垣拓朗 (70期 高校3年)
山口葵育 (70期 高校3年)

今回で13回目になる世界大会ですが新島学園からも歴代、多数のOBが選出されています。



エース稲垣 開幕戦 対ニュージーランド



山口葵育捕手



試合時の選手紹介動画の作成風景



大会の宿舎である大学寮前で



いざ出国



宿舎からの風景



TV局のインタビュー



地元クラブチームとの親善試合後に



ラグビー博物館



地元高校生との交流会での集合写真



地元の小学生応援団



JAPANチーム系の少年と



表彰式



学園メンバーで



表彰式後に



優勝直後の胴上げ

根笹会



高崎根笹会

令和となって最初の開催も、例年通り10月第一金曜日の4日に、ディア・フィオーレ・マリエール高崎にて、84名の方々に参加いただき開催されました。今回は、記念すべき10回目の開催であったことから、記念事業として、同窓生である落語家六代目 古今亭今輔氏（38期生）をお迎えし、総会・懇親会と無事に開催することが出来ました。

記念事業は、今輔氏に先立ち、鏡味千代氏による太神楽曲芸を目で楽しみ、その後、真打今輔氏の落語に、会場内は大きな笑いと拍手に包まれておりました。

会場を移して、総会も平成30年度決算・令和元年度予算と無事にご承認いただき、ご列席いただいたご来賓の方々を代表し、湯浅理事長と古畑校長より、祝辞をいただきました。

続いて、恒例となりました管弦楽音楽アンサンブルによる演奏を聴き、アンサンブル伴奏による校歌斉唱で懇親会がスタートいたしました。立

見同窓会長による高らかな乾杯のご発声後は、参加者同士、懇親を深め、賑やかな祝宴となりました。

今年度は、コロナ禍ということで中止となってしまいました。安全面を考えると致し方ないと思います。ですが、令和3年度は開催出来ると信じております。令和3年10月1日には、ディア・フィオーレ・マリエール高崎にて、皆様のご参加をお待ちしております。ぜひ多くの方にご参加



同窓会長による乾杯



理事長挨拶



会長挨拶

いただき、一緒に今年の分も楽しみましょう。

富岡根笹会

例年、富岡市を会場に多数の御来賓を始め、和やかなムードの中、同窓生が集い思い出話や近況報告に花が咲きます。

令和初となる2019富岡から根笹会は2期の先輩から51期の仲間まで半世紀にわたる世代が一堂に会し来賓の方々を含め約50名が集いました。



会長挨拶

開宴に先立ち、昨今の情勢を鑑み、甘楽教会上原牧師（38期）のお導きにより、祈禱を行い、また賛美歌を共に歌う時間を持ちました。

主催者である湯川嘉昭会長（31期）は、このような時であるからこそ、根笹会のような活動が大切であり、学校と共にありたいとの力強い挨拶がありました。

また、この場をお借りし、湯浅理事長、古畑校長先生をはじめ

め、多数の御来賓の方々にお越しいただきました事、厚く御礼申し上げます。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催

催を取りやめる方針です。

次年度以降、社会情勢に安定の兆しが見られ、皆さまと盛大に根笹会を開催し、再会出来ま



同期会

21期同期会

代表幹事 上原 康廣

2019年10月6日、開場前受付で前回の写真を渡し、いつもながら八木健司朗くんの高崎暢神荘にお世話になり、一昨年(2018年)逝去された代表幹事高橋保くんの御霊に皆で黙とうを捧げ、会は厳粛の内に開会された。

暢神荘は、中庭に池があり、くじやくも生息する何とも風情がある料亭である。その料亭で、八木くんの取り計らいで破格値で開催できることも会が存続できる所以でもある。改めて、感謝と御礼を申し上げたい。

高橋くんの急逝を皆で惜しむと同時に、自身もここが悪く手術をした、今こういう治療をしていると病氣談議に花が咲き、盃を傾け、いつしか遠い昔の学園時代の生活を懐かしみ、こんな悪さをしたな、こんなこともあったな、と止むことのない会話に花が咲いた。

新島襄先生の「庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁」を思い出し、風や雪を笑顔で耐え忍び生きるこの大切さをしみじみと感じながら語り合う楽しさ。いつしか学園にいるとき、歳に何故か戻ってしまう。(笑)



楽しい時間も一瞬にして終わり、小瀧秀夫くんが用意してくれた学園校歌の楽譜をもとに大きな声で皆で歌い合った。同胞とは、本当に良いものだ。

その後、玄関で記念撮影、時間が許さず1次会に出られなかったメンバーが加わり2次会会場へ。次回開催を約束し、各々帰路に就く。コロナ収束を心から望む。

今回出席された能登(旧姓設楽)はる美さんが2020年5月にお亡くなりになりました。病を押して皆さんに会いに来てくれたはる美さんに感謝し、謹んで哀悼の意を表します。

59期同期会

吉田 直貴

2月23日(日)18時より、高崎のザ・ジョージアンハウス1997にて59期生の同窓会を開催しました。会場が決まってしまうので日程も短く、急にはな

てしまいました。恩師である先生方にご臨席をいただき、また遠方より駆けつけてくれた同級生もあり、67名の大変にぎやかな同窓会となりました。また新島学園を卒業して10年がたち、高校3年時に鍵を閉めたタイムカプセルの開封式も執り行いました。在学時に「10年後の自分へ」という題で手紙を書

いており、それを見ながら、思い出話に花を咲かせていました。今年、28歳を迎え、皆が職につき初めての同窓会を開催でき、仲間と共に仕事の話や近況報告ができ、思い出に残る会となりました。次回はまだ未定ですが、今後も同窓会を開き、同級生と思い出話ができればと思います。



群馬県 私立新島学園高等学校 59期卒業生 第二回同窓会 2020年2月23日(日)

《地区根笹会》 2019年度 開催状況

地区	開催日	場所	参加人数
吾妻根笹会	-	-	-
伊勢崎・佐波根笹会	2019年6月29日(土)	伊勢崎プリオパレス	9名
東京根笹会	2019年7月5日(金)	日本外国特派員協会	中止
安中根笹会	2019年7月6日(土)	並木苑	90名
高崎根笹会	2019年10月4日(金)	ディア・フィオーレ・マリエール高崎	87名
前橋根笹会	2019年10月26日(土)	レストランテ チニョ	45名
富岡から根笹会	2019年11月9日(土)	アミューズ富岡	50名
桐生根笹会	2019年9月28日(土)	桐生プリオパレス	35名
埼玉根笹会	-	-	-
軽井沢根笹会	-	-	-

2020年度に予定されていた地区根笹会はすべて中止でした。

2019年度 第28回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)	名 前	学 年	大会名	種 目	結果
1	ソフトボール部			2019年度全国高等学校総合体育大会	男子ソフトボール	優 勝
2	演劇部			第55回関東高等学校演劇研究大会		優良賞
3	写真部			写真甲子園2019 (第26回全国高等学校写真選手権大会)		3 位
4	特別賞 団体 男子 バスケットボール部	坂 東 秀 梧	3年B組	第6回 3×3 U18 日本選手権大会	3×3 バスケットボール	第5位
		岩 田 悠 馬	2年D組			
		秋 山 翔 太	2年E組			
		松 本 大 輝	1年F組			
5	女子陸上競技部			第72回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子総合	優 勝
6	バドミントン部			第54回群馬県高等学校総合体育大会 (バドミントン)	男子学校対抗戦	準優勝
7	山岳部			第54回群馬県高等学校総合体育大会 (登山)		準優勝
8	ソフトボール部	稲 垣 拓 朗	2年F組	第7回男子U17アジアカップ (開催国 マレーシア)	男子ソフトボール	優 勝
山 口 葵 育		2年B組	優 勝			
齋 藤 向 陽		2年F組	優 勝			
11	女子陸上競技部	松 下 真 生 子	3年E組	第54回群馬県高等学校総合体育大会陸上競技	女子400m	優 勝
12		飯 島 愛 恵	3年C組	第72回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子400mハードル	優 勝
13		阿 部 田 莉 月	1年F組	令和元年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子5000m競歩	優 勝
14		後 閑 南 季	2年F組	令和元年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子三段跳	優 勝
15	男子陸上競技部	黒 澤 瑛 紀	3年D組	2019年群馬県陸上競技選手権大会	男子3000m障害	優 勝
16	バドミントン部	中 島 亜 紀	3年D組	平成31年度全国高等学校総合体育大会群馬県予選会	ダブルス	優 勝
17		河 野 鈴 佳	3年C組	平成31年度全国高等学校総合体育大会群馬県予選会	ダブルス	優 勝
18	ソフトテニス部	小 林 彩 奈	1年F組	令和元年度群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会	シングルス	優 勝
19	特別課外活動 (新島論文)	鵜 崎 陶 子	2年E組	2019年度 新島襄生誕177年記念学生・生徒懸賞論文 [新島襄と岩倉使節団]		最優秀賞
20	男子 バスケットボール部	坂 東 秀 梧	3年B組	2019年度群馬県高体連バスケットボール専門部	バスケットボール	優秀選手賞
21	写真部	千 木 良 凜 香	1年C組	群馬県高等学校芸術祭 (県大会)		優秀賞
22	放送部	池 田 彩	2年C組	第66回NHK杯全国高校放送コンテスト群馬県大会		優良賞
23	特別課外活動 (新島論文)	小 林 航 太 郎	3年A組	2019年度 新島襄生誕177年記念学生・生徒懸賞論文 [新島襄の変化 ～七五三太からジョセフまで～]		佳 作

中学校の部

	名称(部活動名等)	名 前	学 年	大会名	種 目	結果
1	ソフトボール部			第29回関東中学生選抜ソフトボール大会	男子ソフトボール	優 勝
2	サッカー部			第54回群馬県中学校総合体育大会	サッカー	準優勝
3	男子 バスケットボール部			第54回群馬県中学校総合体育大会	バスケットボール	準優勝
4	演劇部			第49回群馬県中学校演劇祭		最優秀賞
5	特別課外活動 (水泳)	野 村 真 紘	3年E組	第59回全国中学校水泳競技大会	男子200m平泳ぎ	5 位
6	女子陸上競技大会	矢 島 好 逢	2年A組	令和元年度群馬県中学校新人陸上競技大会	女子800m	優 勝
7	奨励賞 空手	岡 田 琉 位	3年A組	第27回全国中学生空手道選手権大会		出 場

【根笹賞】 協賛金賛同者一覧 (2019年11月5日～2020年4月27日)

協賛金：企業の場合：1口10,000円 個人の場合：1口3,000円

協賛金 3,000円					
小松 匡 (2期)	佐俣 英司 (3期)	吉田 罔之 (3期)	岡田 進 (3期)	高橋 真実 (4期)	
吉田 悟 (4期)	新野 宗一 (4期)	服部 好伸 (5期)	柘植 正 (8期)	小林 芳正 (9期)	
安波 孝修 (10期)	荻原 守 (10期)	上原 克昌 (12期)	山田 晃 (13期)	上原 一彦 (14期)	
清水 浩 (14期)	横尾 廣之 (15期)	古谷 健 (15期)	江端 憲彦 (15期)	松崎 幸雄 (17期)	
磯貝 和俊 (18期)	松江 実 (19期)	三宅 豊 (19期)	天田 雅己 (20期)	黒澤 弘典 (20期)	
田嶋 政美 (20期)	村井 正 (20期)	善如寺留美子 (20期)	牧野 正和 (21期)	田中 裕子 (22期)	
河内 昭一 (22期)	深澤 通子 (22期)	坂野 弘子 (22期)	上原 輝彦 (23期)	後閑 善夫 (24期)	
半田 康浩 (25期)	塚越 弘子 (25期)	小坂橋 秀夫 (25期)	飯塚 幸司 (25期)	小林 栄郎 (25期)	
眞下 浩 (27期)	大木 正 (27期)	保坂 哲也 (28期)	沖田 恭子 (28期)	中里見礼子 (28期)	
丸山 葉子 (29期)	小船 晃 (29期)	小宮 山仁 (29期)	山田 勝光 (30期)	池上 浩之 (30期)	
星野 香乃 (33期)	瀬尾 真理子 (33期)	清水 知 (33期)	木賊 真寿美 (37期)	萩原 宗一郎 (37期)	
猪又一 栄 (40期)	大平 修司 (41期)	小坂橋 徹 (41期)	大岡 桂 (41期)	北爪 史郎 (42期)	
清水 良 (43期)	原 佳子 (44期)	荻原 昌弘 (45期)	伊佐 治千尋 (46期)	小此木 弘充 (46期)	
矢野間 由里 (46期)	大平 公一 (47期)	清水 哲 (47期)	福田 朋和 (48期)	広上 佳子 (48期)	
中田 秀太郎 (50期)	大塚 祐子 (51期)	原 洋介 (54期)	細野 翔大 (54期)	星野 芳輝 (63期)	
西川 瑞基 (65期)	新井 琢馬 (65期)	小林 竜也 (66期)	平井 咲妃 (67期)	春田 康之 (71期)	

【掲載辞退 36名】

協賛金 4,000円 星野 伸樹 (32期)

協賛金 6,000円					
半田 淳 (3期)	永山 敏之 (8期)	服部 光正 (9期)	眞下 隆夫 (16期)	江村 邦雄 (17期)	
大類 博史 (19期)	藤口 光洋 (20期)	田島 裕子 (24期)	谷 勝彦 (25期)	金子 豊 (27期)	
佐俣 幹夫 (28期)	湯本 直也 (28期)	菅谷 紀梨子 (31期)	土屋 泰司 (31期)		【掲載辞退 7名】

協賛金 9,000円					
須藤 憲二 (3期)	広岡 源五 (4期)	岩井 捷夫 (5期)	速水 貢 (6期)	浦野 守 (9期)	
市川 良治 (17期)	田島 龍一 (19期)	本橋 茂 (19期)	北原 雄一郎 (20期)	木村 信明 (25期)	
細谷 可祝 (29期)	有田 大輔 (41期)				【掲載辞退 2名】

協賛金 10,000円					
山縣 英明 (1期)	高橋 昌司 (11期)	小林 守 (11期)	茂木 隆 (15期)	山本 英夫 (16期)	
月本 昭男 (16期)	山田 中久 (26期)				
フォーチュンコンサルティング【小林謙二 (15期)】			(株)コムテックス【小林正明 (20期)】		
(株)エフディジョン【福田 豊 (25期)】			(株)有賀【有賀一師 (30期)】		
(株)日本労務センター【山田恵一 (37期)】			しのめ信用金庫【横山慶一 (38期)】		
(株)マエコムクロス【前田 誠 (42期)】			(株)永真工業【宮永真実 (48期)】		
COCO塾ジュニア富岡田島教室【八木 紹 (66期)】					【掲載辞退 2名】

協賛金 12,000円 大平 良治 (7期) 松本 修平 (14期) 【掲載辞退 1名】

協賛金 15,000円 平井 一男 (3期) 高松 啓三 (10期) 立見 賢治 (20期) 桜井 宏信 (21期) 高澤 周示 (42期) 【掲載辞退 1名】

協賛金 20,000円 松本 善臣 (7期) (株)上毛テクニカル【山口 淳 (40期)】 (株)高崎松風園【山口俊輔 (43期)】

協賛金 21,000円 【掲載辞退 1名】

協賛金 30,000円 高橋 進 (3期) 上原 常宏 (4期) 前村 和夫 (5期) 神戸 洋彦 (12期) 阪本 要一 (15期) 白石 正久 (25期) 根岸 夕子 (42期) (有)高崎塗装工業所【青島 浩 (15期)・青島真一 (43期)】 (株)吉田組【遠藤武男 (10期)】 【掲載辞退 3名】

協賛金 50,000円 【掲載辞退 1名】

協賛金 300,000円 【掲載辞退 1名】

合計 198個人・企業 1,701,000円

以上、ご賛同いただいた方 ありがとうございます

2019年度同窓会決算報告

一般会計

2019年度 収支決算書

(2019.4.1~2020.3.31)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
前年度繰越金(1)	3,757,826	3,757,826	0	
同窓会費収入	2,220,000	2,200,000	▲20,000	10,000×220名(2019年度卒業生) 69期生
名簿代収入	0	0	0	
利息収入	1,000	1,039	39	定期1,017円 普通22円
雑収入	2,000,000	1,887,000	▲113,000	総会参加費・根笹広告料
収入小計(2)	4,221,000	4,088,039	▲132,961	
収入合計(1)+(2)	7,978,826	7,845,865	▲132,961	

支出

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
印刷費	150,000	0	▲150,000	同窓会報根笹印刷費
会議費	550,000	489,594	▲60,406	総会・役員会
事務費	100,000	124,237	24,237	コピーリース 90,287円 使用料 33,950円
消耗品費	10,000	1,116	▲8,884	ファイル代
遠征費補助金支出	250,000	180,000	▲70,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	250,000	260,000	10,000	各期同窓会8期分・地区根笹会補助6地区
旅費交通費	10,000	0	▲10,000	
通信費	100,000	69,338	▲30,662	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	330,000	128,844	▲201,156	ホームページ 128,844円
同窓会主催事業費	1,914,020	1,114,889	▲799,131	根笹送付・サマーコンサート等
学園祭協賛金	300,000	300,000	0	
雑費	50,000	77,705	27,705	短大同窓会祝金・県下高校ゴルフ等
予備費	30,000	0	▲30,000	
支出小計(4)	4,044,020	2,745,723	▲1,298,297	
当年度収支差額(2)-(4)	176,980	1,342,316	1,165,336	
次期繰越(5)	3,934,806	5,100,142	1,165,336	
支出合計(4)+(5)	7,978,826	7,845,865	▲132,961	

注:予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

一般会計

2020年度 収支予算書(案)

(2020.4.1~2021.3.31)

(単位:円)

科目	前年度決算額	予算額	増減	備考
前年度繰越金(1)	3,757,826	5,100,142	1,342,316	
同窓会費収入	2,200,000	6,250,000	4,050,000	10,000×625名(中1・高1・高3 合計)
名簿代収入	0	0	0	
利息収入	1,039	1,000	▲39	前年実績
雑収入	1,887,000	1,900,000	13,000	総会参加費・根笹広告料・寄付金
収入小計(2)	4,088,039	8,151,000	4,062,961	
収入合計(1)+(2)	7,845,865	13,251,142	5,405,277	

支出

(単位:円)

科目	前年度決算額	予算額	増減	備考
印刷費	0	10,000	10,000	根笹印刷費
会議費	489,594	500,000	10,406	総会費・会議費
事務費	124,237	130,000	5,763	コピーリース料・使用料
消耗品費	1,116	5,000	3,884	
遠征費補助金支出	180,000	200,000	20,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	260,000	300,000	40,000	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	0	10,000	10,000	事務局関係旅費
通信費	69,338	70,000	662	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	128,844	130,000	1,156	ホームページ更新料
同窓会主催・共催事業費	1,114,889	1,200,000	85,111	新島学園サマーコンサート・根笹送付費用等
学園祭協賛金	300,000	0	▲300,000	
雑費	77,705	80,000	2,295	
予備費	0	30,000	30,000	
支出小計(4)	2,745,723	2,665,000	▲80,723	
当年度収支差額(2)-(4)	1,342,316	5,486,000	4,143,684	
次期繰越(5)	5,100,142	10,586,142	5,486,000	
支出合計(4)+(5)	7,845,865	13,251,142	5,405,277	

注:予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。

収支決算 財産目録

(単位:円)

資産の部	決算額
現金	64,456
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	5,035,686
繰越金残高計(a)	5,100,142
固定性定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	17,100,142

予算案 財産目録

(単位:円)

資産の部	前年実績	予算額
現金	64,456	0
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	5,035,686	10,586,142
繰越金残高計(a)	5,100,142	10,586,142
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000	12,000,000
正味財産(a)+(b)	17,100,142	22,586,142

根笹基金

2019年度 収支決算書 (2019.4.1~2020.3.31)

収入

(単位:円)

科目	決算額	備考
前年度繰越金	16,702,176	定期預金 15,000,000円 普通預金 1,702,176円
寄附金収入	0	
利息収入	1,287	定期預金利息1,274円 普通預金利息13円
雑収入	0	
収入小計(1)	1,287	
合計	16,703,463	

支出

(単位:円)

科目	決算額	備考
褒賞費	255,000	ギフトカード
賞状代	81,620	賞状ファイル代
雑費	540	残高証明書
支出小計(2)	337,160	
当年度収支差額(1)-(2)	▲335,873	
次期繰越金	16,366,303	
支出合計	16,703,463	

根笹基金 財産目録

(単位:円)

資産の部	金額
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.741658	1,366,303
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.378360	15,000,000
正味財産	16,366,303